

2023年度

# 東京都市大学 「求める人材・大学教育へのニーズ調査」

東京都市大学    キャリア支援センター  
教育開発機構教育アセスメント室

## 調査目的

本学の教育研究活動において、企業から「求める人材像」や「本学卒業生に対する評価」をヒアリングし、教育改善に反映させる事を目的とする

## 調査対象

本学卒業生の入社実績がある企業のうち、近年本学の教職員と名刺交換等を行った方々 385名

## 調査方法

インターネット（WEB）調査  
（スマートフォン・PC・タブレット端末等で回答可能）

## 調査項目

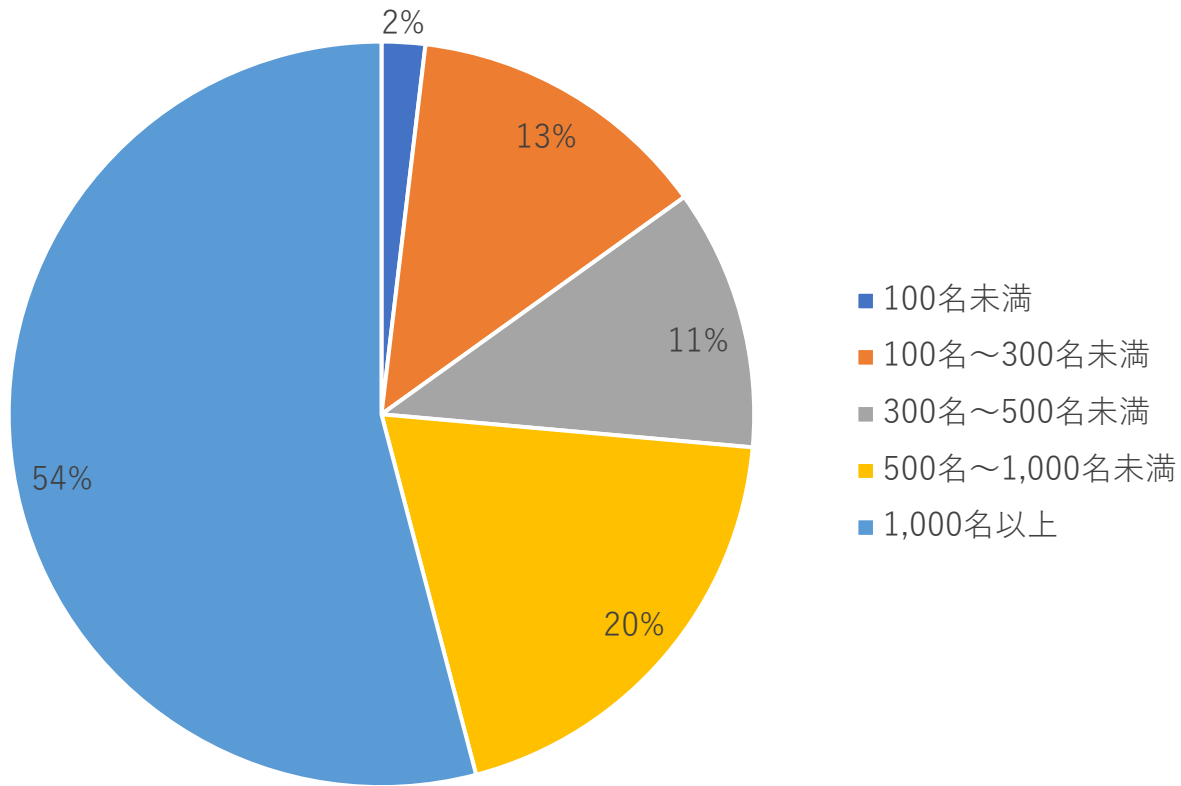
大卒新卒者に求めるITスキル・外国語スキル、学生のうちに経験すべきこと、重要な能力、本学卒業生に対する感想・評価等、全15問

## 有効回答数

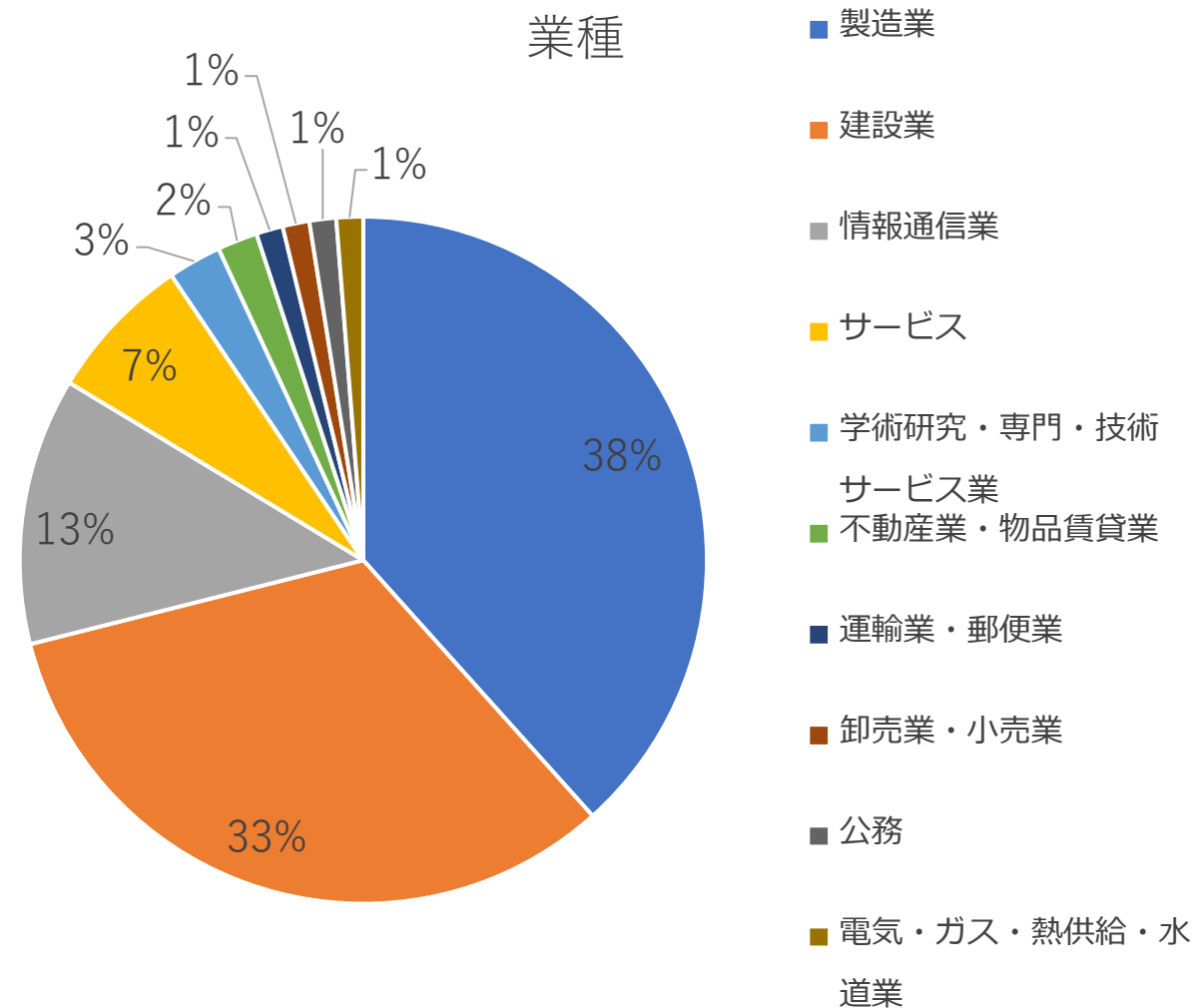
159名（回答率41.2%）

# 回答企業属性(1)

## 従業員数

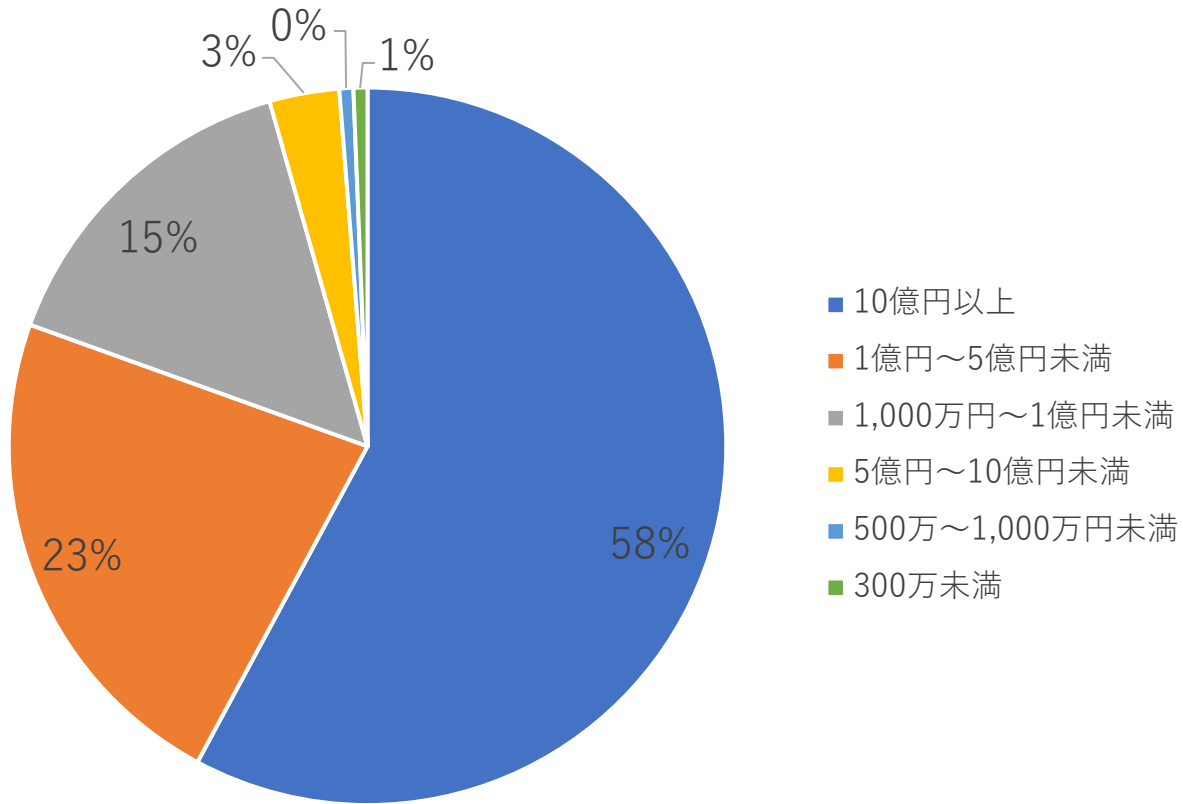


## 業種

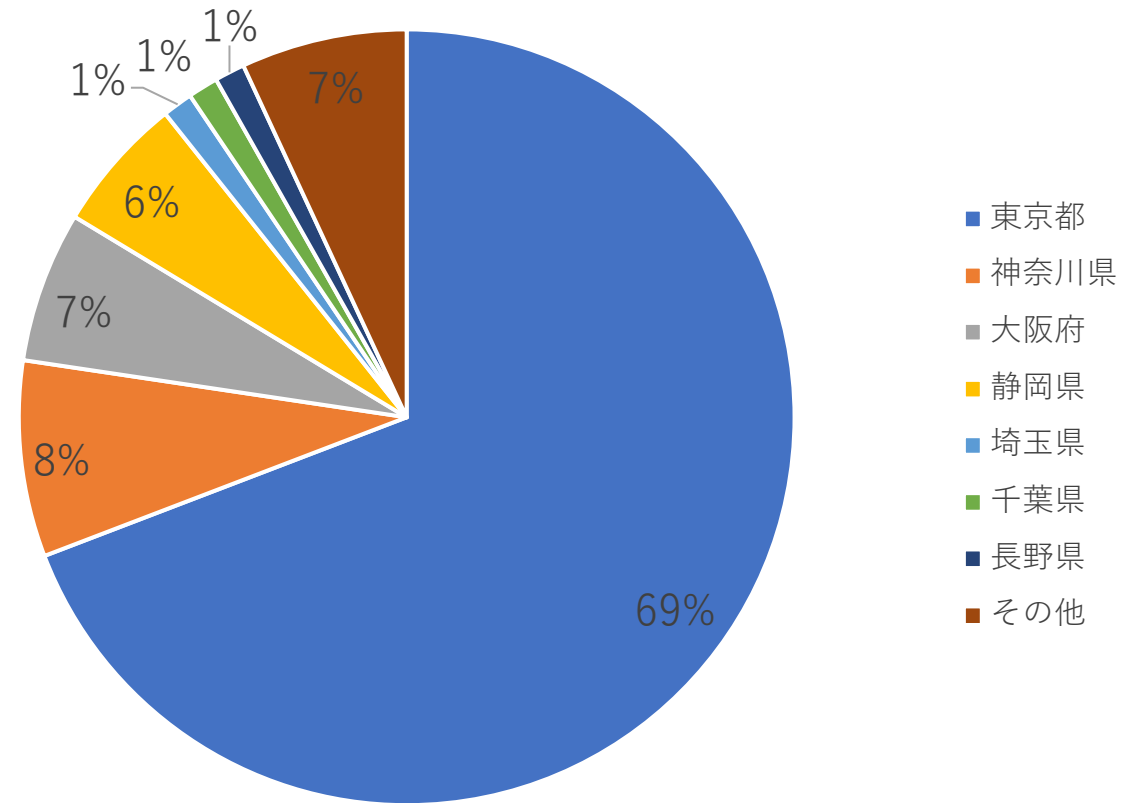


# 回答企業属性(2)

## 資本金



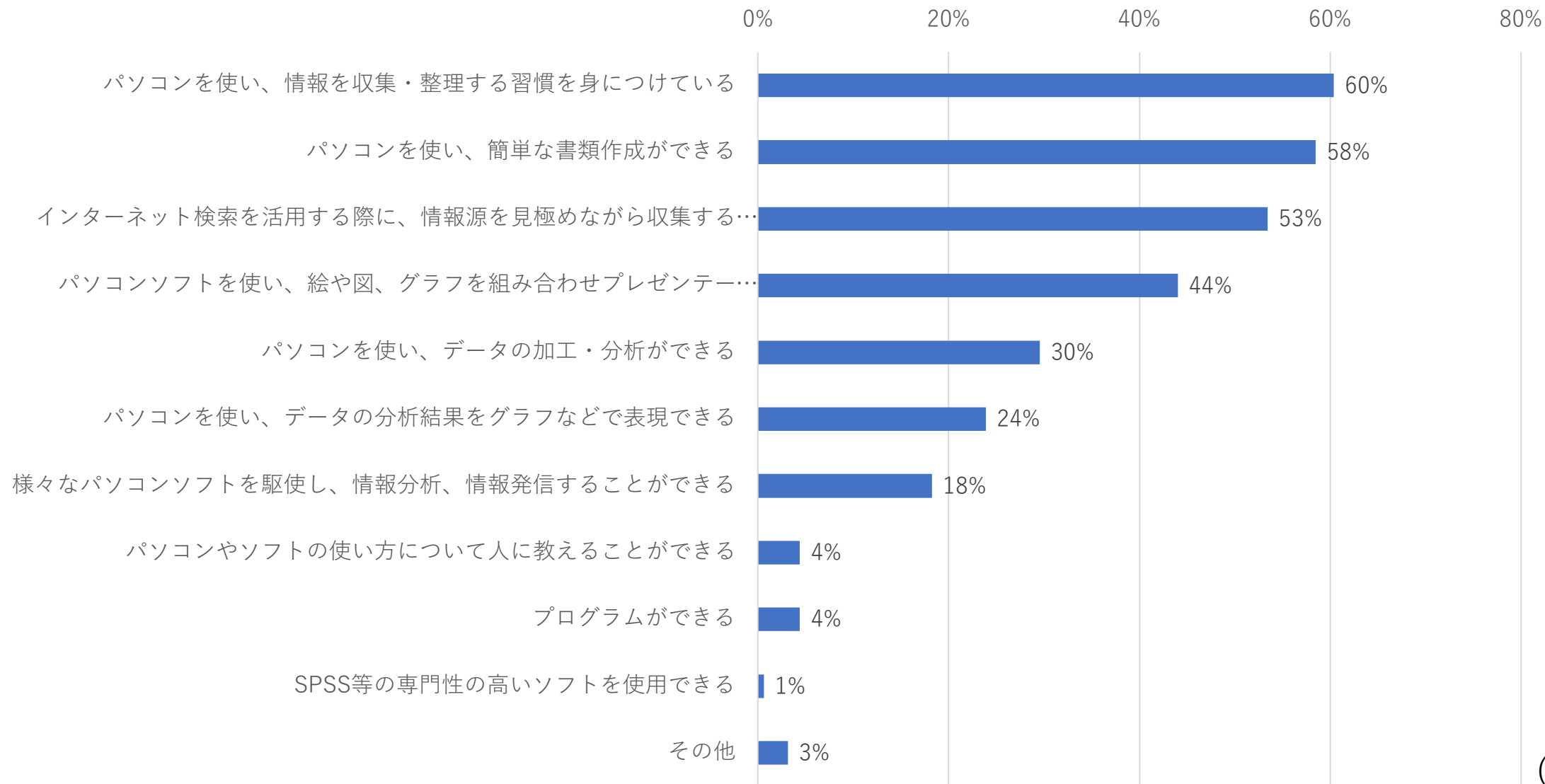
## 所在地



## 【教育アセスメント室による分析コメント】

- ✓ 従業員数で見た企業規模の割合は昨年度同程度である。
- ✓ 業種については、製造業の割合が25%から38%と大幅に増加した。昨年度最も多かった建設業の割合には変化がなく、製造業の割合増の分、サービス業と卸売業の割合が減少している。
- ✓ 回答企業の資本金については10億円以上の企業の割合が昨年度の53%から58%に漸増した。
- ✓ 企業の所在地は昨年度と同様、東京都および近県の企業が大勢を占めている。

# 貴社が大卒新卒者に最低限求めるITスキルの内容（3つ回答）



(n=159)

# 貴社が大卒新卒者に最低限求めるITスキルの内容（その他の回答）

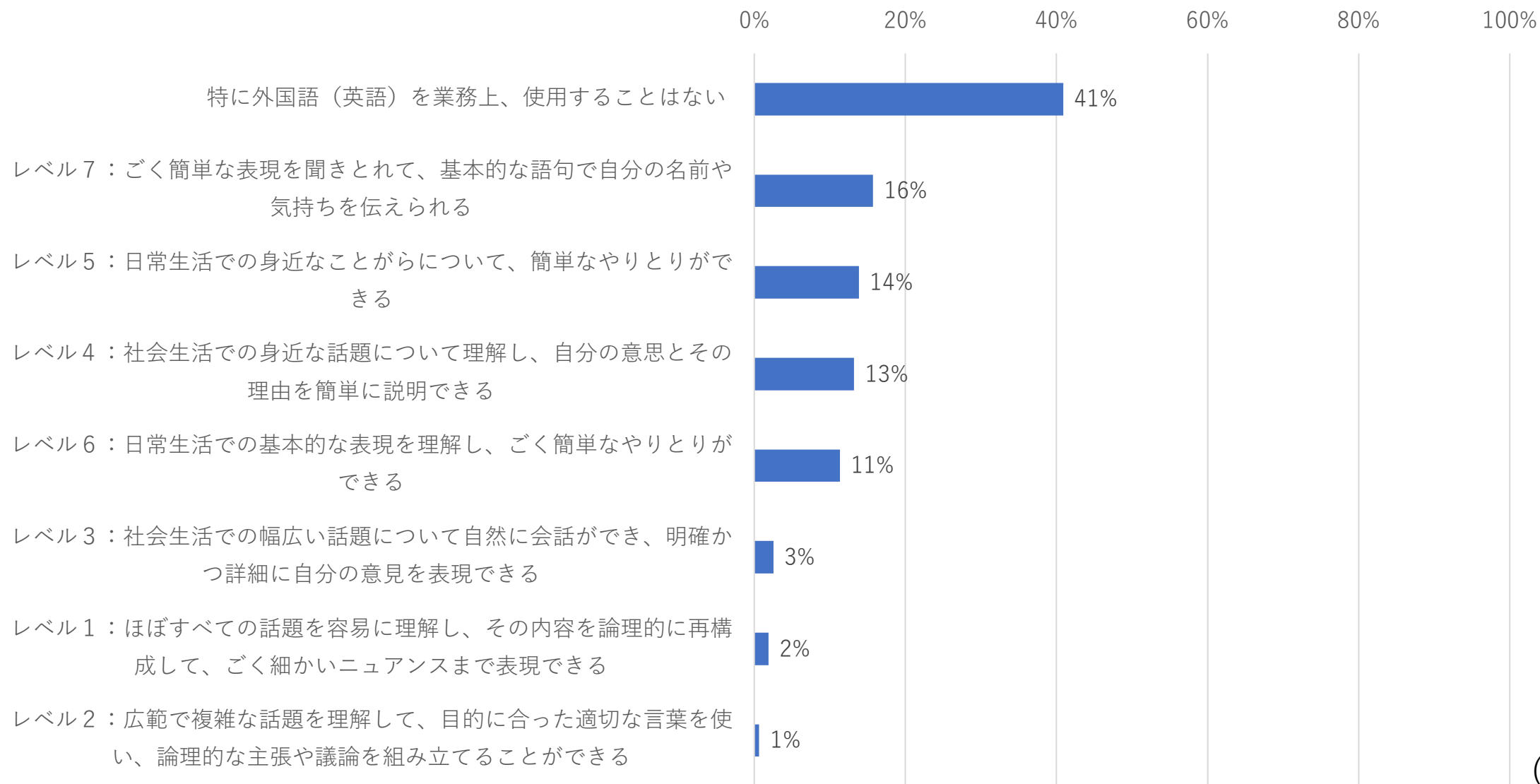
- WEB会議
- 職種にもよりますが、CADの基本操作ができるとうい
- 礼儀、コミュニケーション能力
- 基礎的なCAD操作ができる
- 図面作成
- 情報系の部署を志望される場合はプログラムのスキルも求められます
- 最低限のコンプライアンス意識
- 専門ソフト（例えばCAD）が使えることに越したことはないが、Officeソフト（Word、Excel、PowerPoint）は操作できるようにしてほしい

## 【教育アセスメント室による分析コメント】

- ✓ パソコンを利用した基本的なスキルはほとんどの企業で新卒者に求められている。
- ✓ プログラミングや高度なソフトウェアの必要性を回答した企業は10%未満であるが、自由回答ではCADソフトのスキルを必要性を挙げた企業が複数あった。
- ✓ 今回の調査で選択可能な項目数を3つに制限したため、各回答の割合は全項目で昨年度調査より下がっているが、重要視するスキルの順番は昨年度と同じであった。  
(上位3項目の昨年度の割合は(90%, 90%, 81%))



# 貴社の新卒者に求める外国語（英語）のコミュニケーションレベル

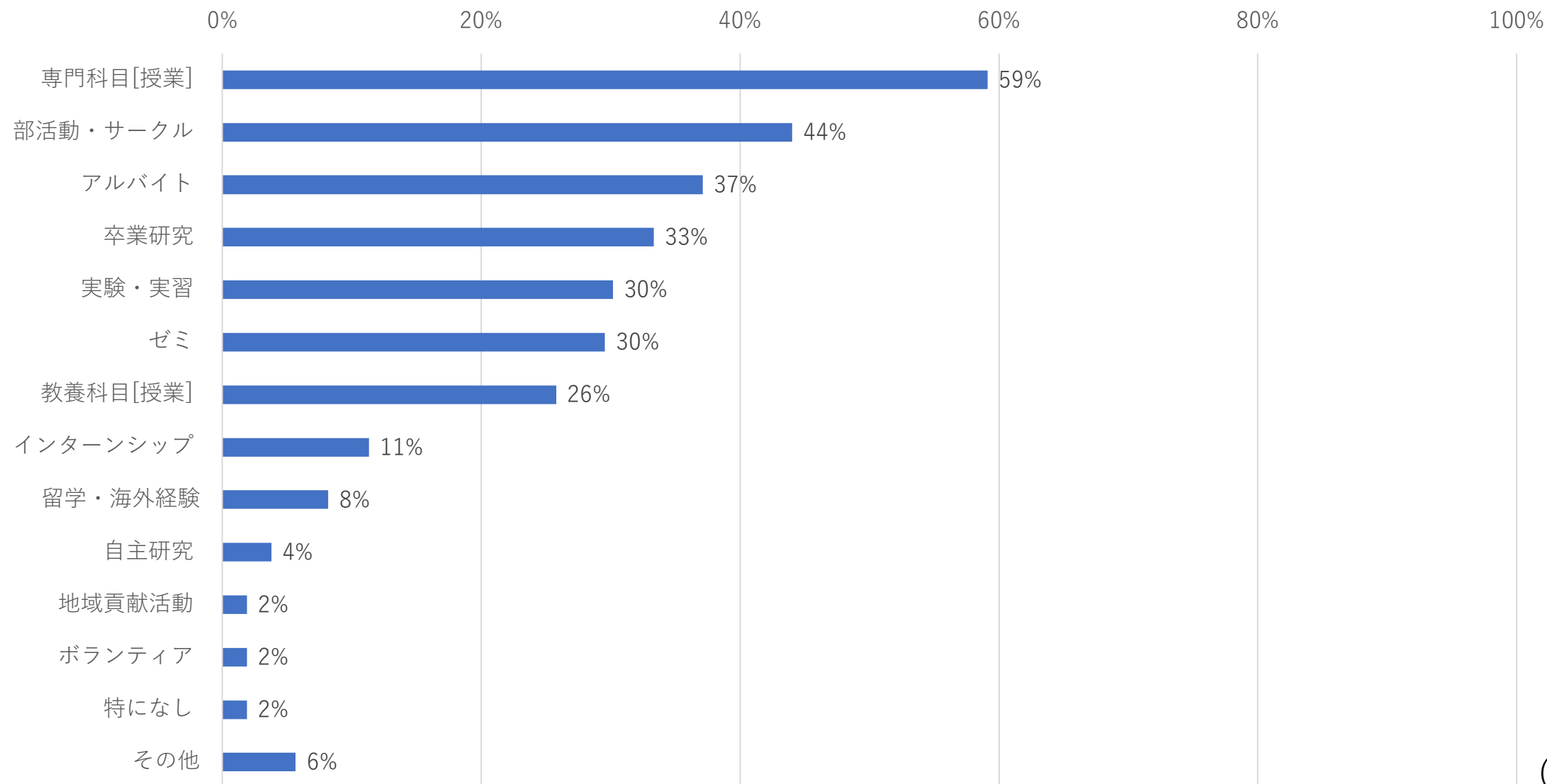


(n=159)

## 【教育アセスメント室による分析コメント】

- ✓ 「用いない」との回答が約4割で、必要な場合でもレベル5までの簡単なやりとりができれば問題ないとしている回答が合わせて82%であり、大勢を占めている。
- ✓ 昨年度よりレベル4の回答が増加している。  
(4% → 13%)
- ✓ 上記の傾向を別な観点で捉えると、2割弱の企業では外国語(英語)が必要と読み取ることができ、そのような企業では、本学で推進している国際化の方向性に沿って学んだ外国語(英語)のレベルが高い学生の能力が発揮できると考えられる。

# 貴社が望む「学生のうちに特に力を入れて経験しておくべきこと」 (3つ回答)



(n=124)

# 貴社が望む「学生のうちに特に力を入れて経験しておくべきこと」 (その他の回答)

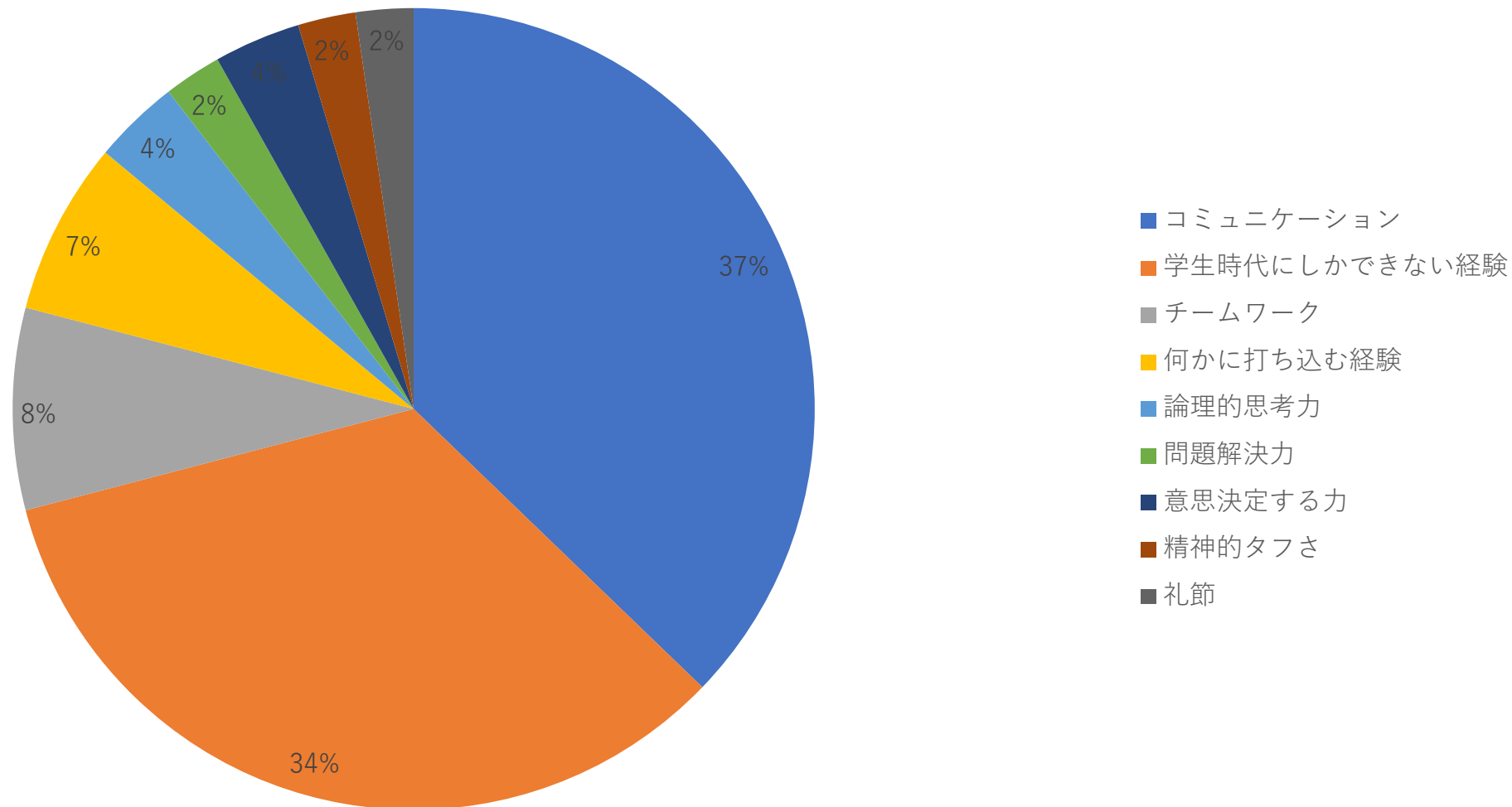
- アルバイトや課外活動を通じた社会経験
- 学内（先生、上級生、同級生、下級生など）との幅広く密接なコミュニケーション機会
- 上記以外にはアルバイト等などで社会人との接する機会を増やし頂きたい（将来自分のやりたい事を考える機会）
- プライベートを充実させるものであれば特に内容は問いませんが、振り返ってみてやり遂げたと思えるものが一つでもあると良いです。
- 自分に自信の持てる活動
- 人それぞれで良いと思うので3つだけを選ぶのは難しいです。
- 職種にもよりますが、建築やまちづくりについて授業以外でも積極的知識があるとよいと思います
- 何でもよいので、熱中し、自信を持って人に話ができるような何か経験
- 建築等施工管理業務の現場体験
- 在学中に自信が興味をもったこと
- 何をしたかよりもそこから何を得たのかという事を重要視しています。
- 人と関わる楽しさ
- 学生時代にし取り組めないこと

# 貴社が望む「学生のうちに特に力を入れて経験しておくべきこと」 (3つ回答)

## 【教育アセスメント室による分析コメント】

- ✓ 専門科目の授業と回答した割合が、昨年度に続き最も高かった。
- ✓ 授業以外では昨年度同様「部活動・サークル」、「アルバイト」、「ゼミ」といった他者との関わりながら行う活動が目立つ。
- ✓ 自由記述では、興味のあることを主体的に取り組むことを重視する意見が多い。
- ✓ 昨年度上位であった、卒業研究、教養科目の授業の割合が相対的に低くなった。
- ✓ 昨年度は選択できる項目数に制限はなかったが、今年度は3つに限定されており、項目ごとの分布に影響が現れている可能性がある。

# 貴社が望む「学生のうちに学んでほしいこと」の詳細

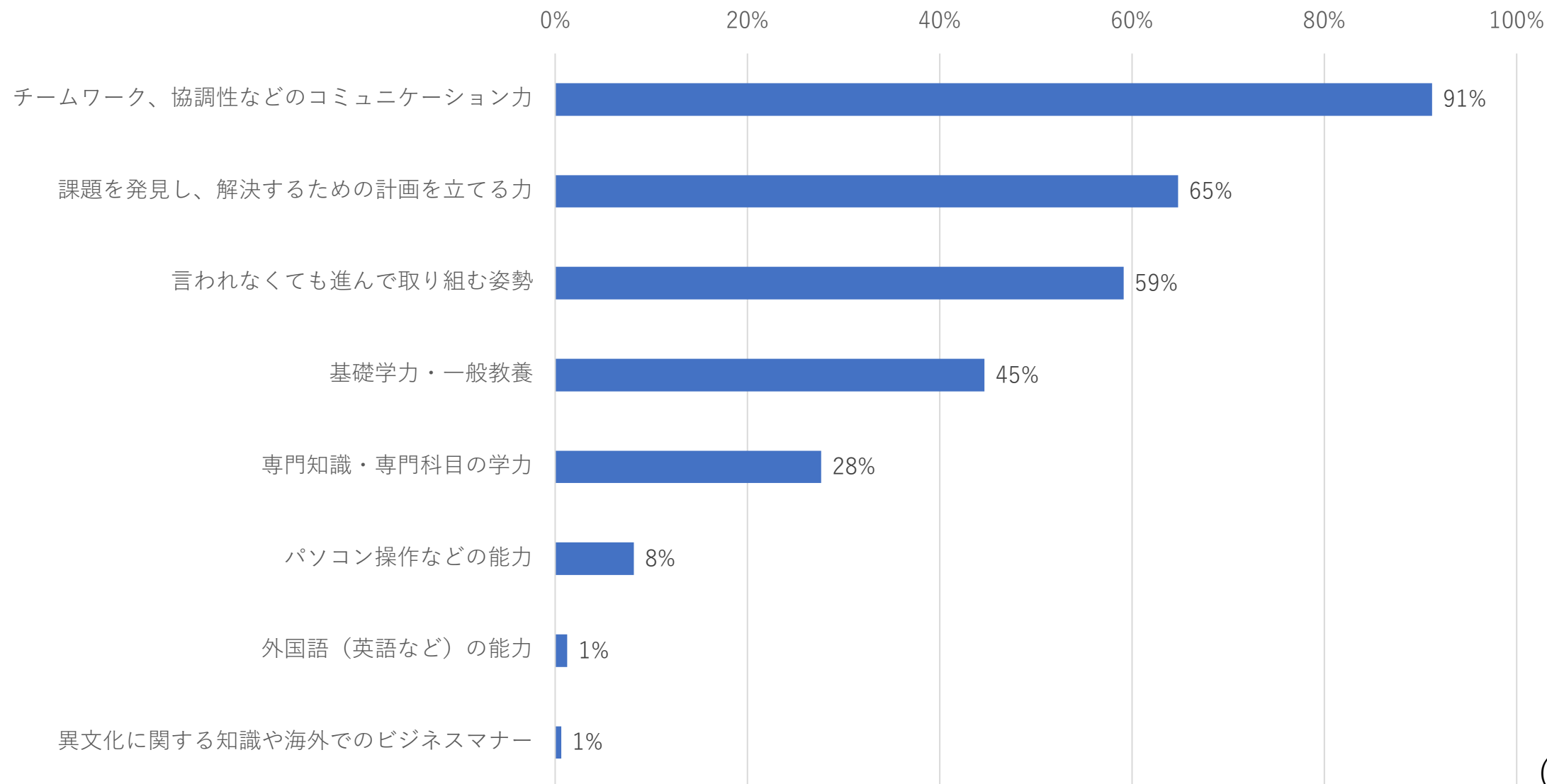


(n=84)

## 【教育アセスメント室による分析コメント】

- ✓ 「コミュニケーション能力」、「学生時代にしかできない経験」が昨年度と同じくそれぞれ約1/3で最も多い。
- ✓ 次に割合の高かった「チームワーク」は昨年度の19%から8%に低下しているが、自由記述の集計方法の違いと考えられる。「コミュニケーション能力」と関係性が高い項目であり、重要視されていることがうかがえる。
- ✓ 「何かに打ち込む経験」については、「学生時代にしかできない経験」との関係性が高いと考えられ、この項目についても重要視する傾向が見て取れる。

# 貴社が大卒新卒者に対して、特に重要だと考える項目（3つ回答）



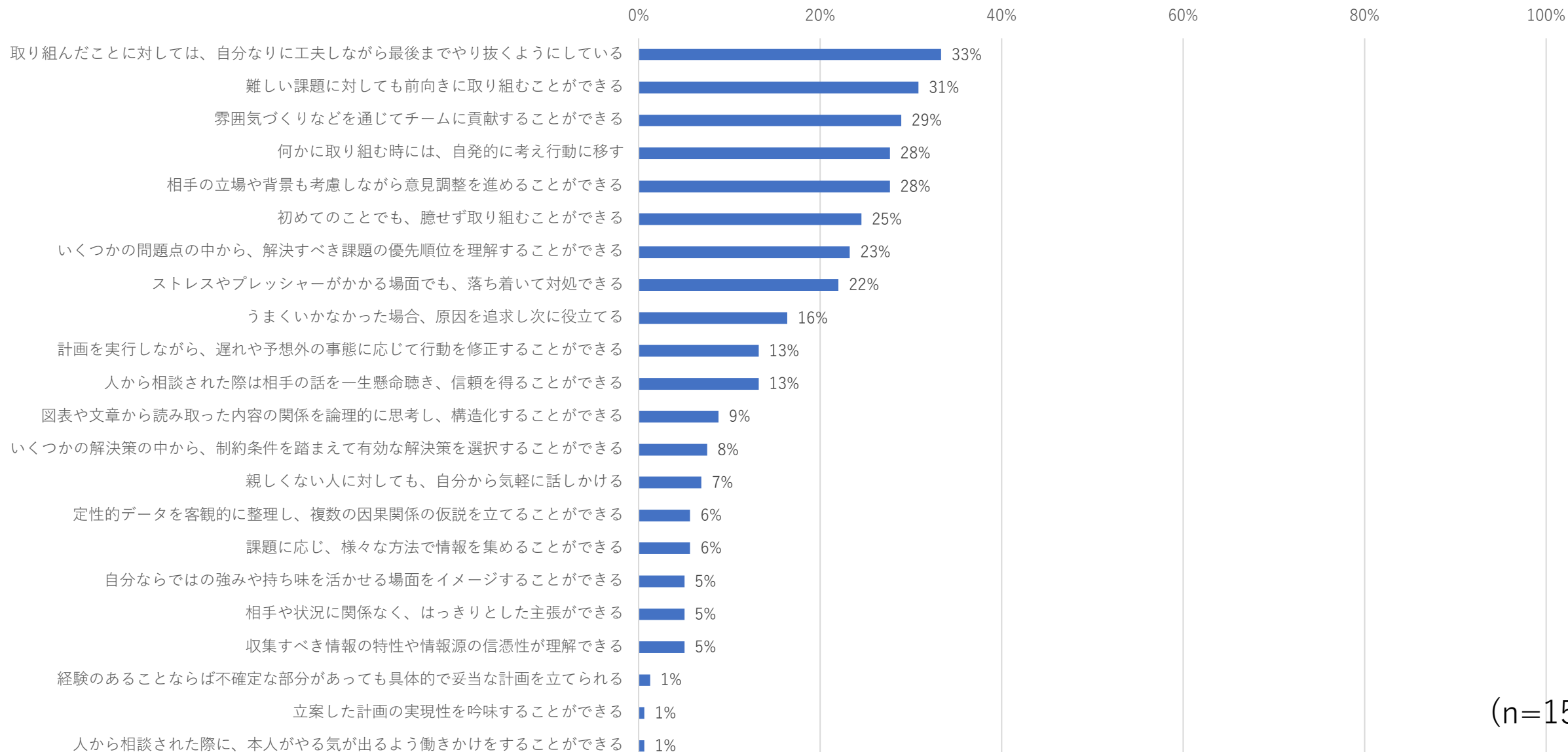
(n=159)



## 【教育アセスメント室による分析コメント】

- ✓ 前問と同様、チームワーク、コミュニケーション力の重要性が高い。
- ✓ 学力よりも仕事を遂行する上で必要な能力を重要視している事が見て取れる。
- ✓ 専門科目の学力よりもむしろ一般教養や基礎的な学力を重視する傾向が見て取れる。
- ✓ 回答割合の順位は昨年と同じでそれらの回答割合も同様の値を示したが、「基礎学力・一般教養」の割合が昨年度より10ポイント程度低下した。

# 貴社が大卒新卒者に対し重要だと考える能力（3つ回答）



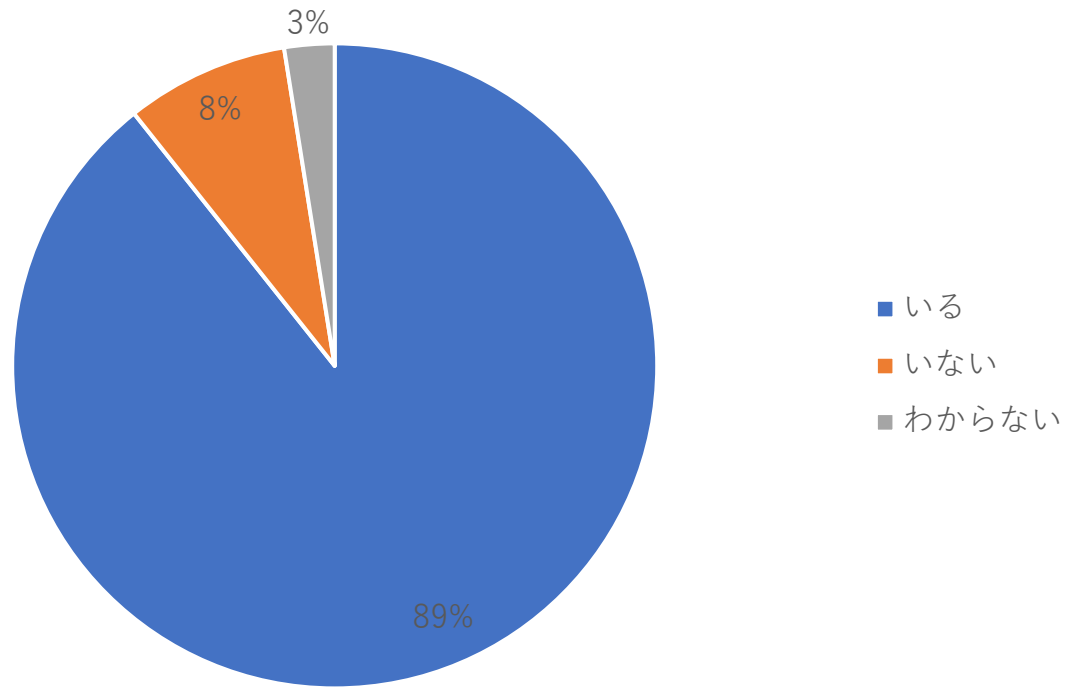
(n=159)

## 【教育アセスメント室による分析コメント】

- ✓ 新しいことに対して自主的に、積極的に工夫しながら対応できる能力が重要視されていることが見て取れる。
- ✓ うまくいかない場合、制約条件下でも対応できる能力の必要性が高い。
- ✓ 今年度から、選択項目数が3つになり、その結果として各項目の回答割合が昨年度の半分程度となった。

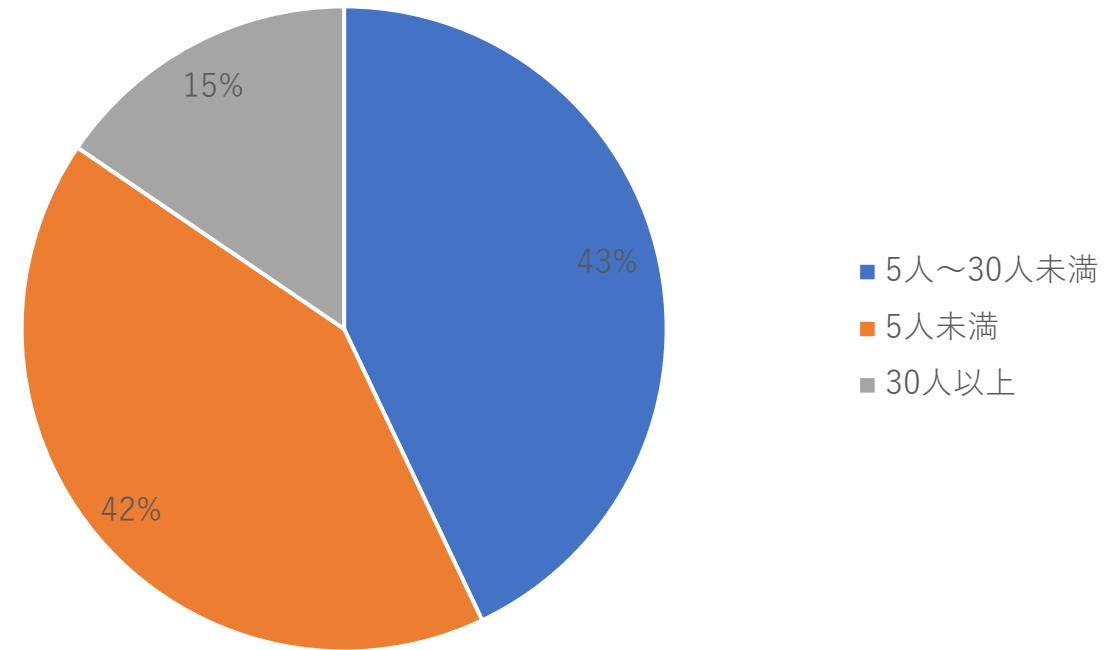
# 貴社に大卒新卒者及び中途採用者含めて、 『技術者』に現在就業中の東京都市大学卒業生について

## 東京都市大学卒業生の有無



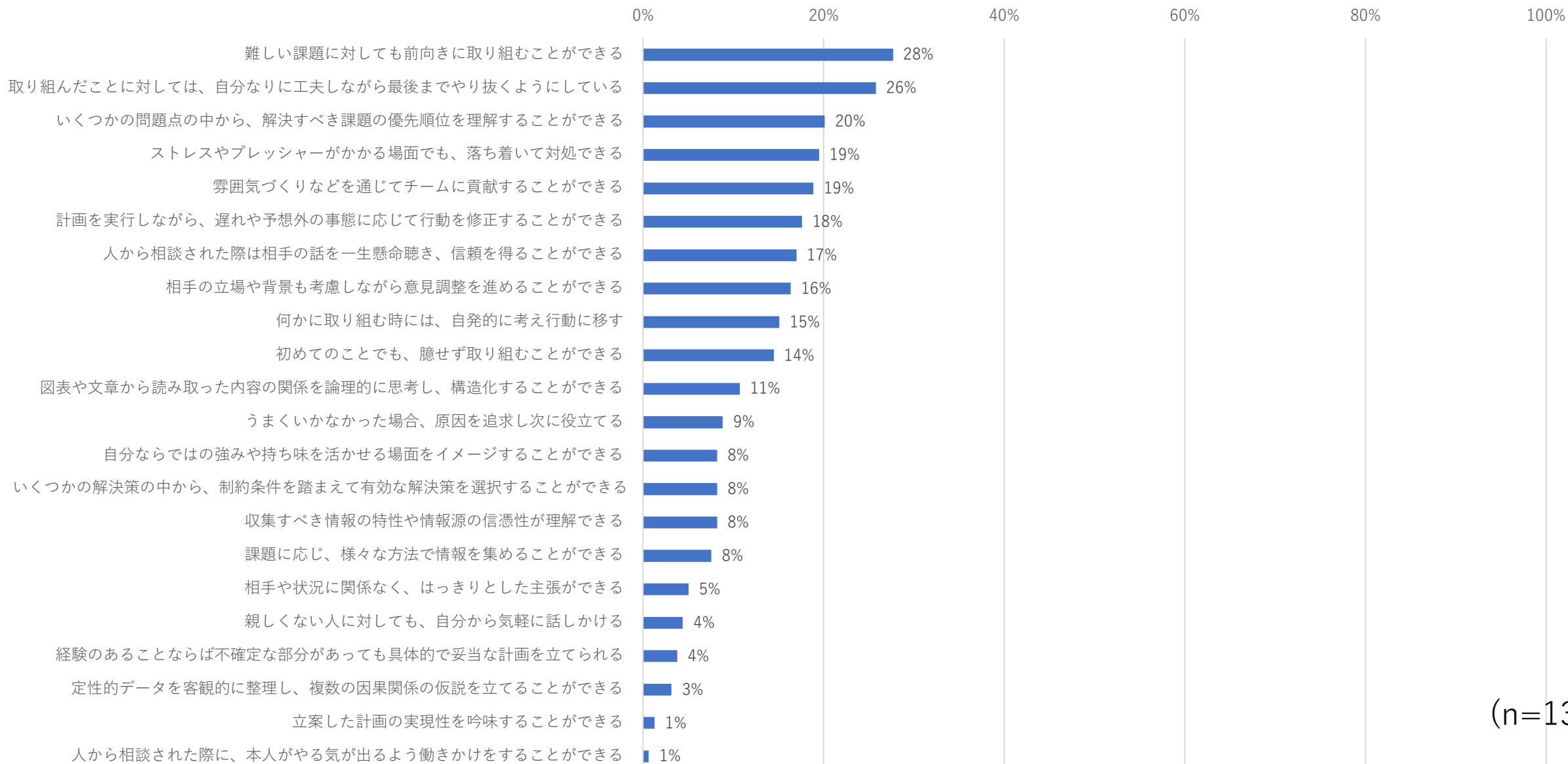
(n=159)

## 東京都市大学卒業生の人数



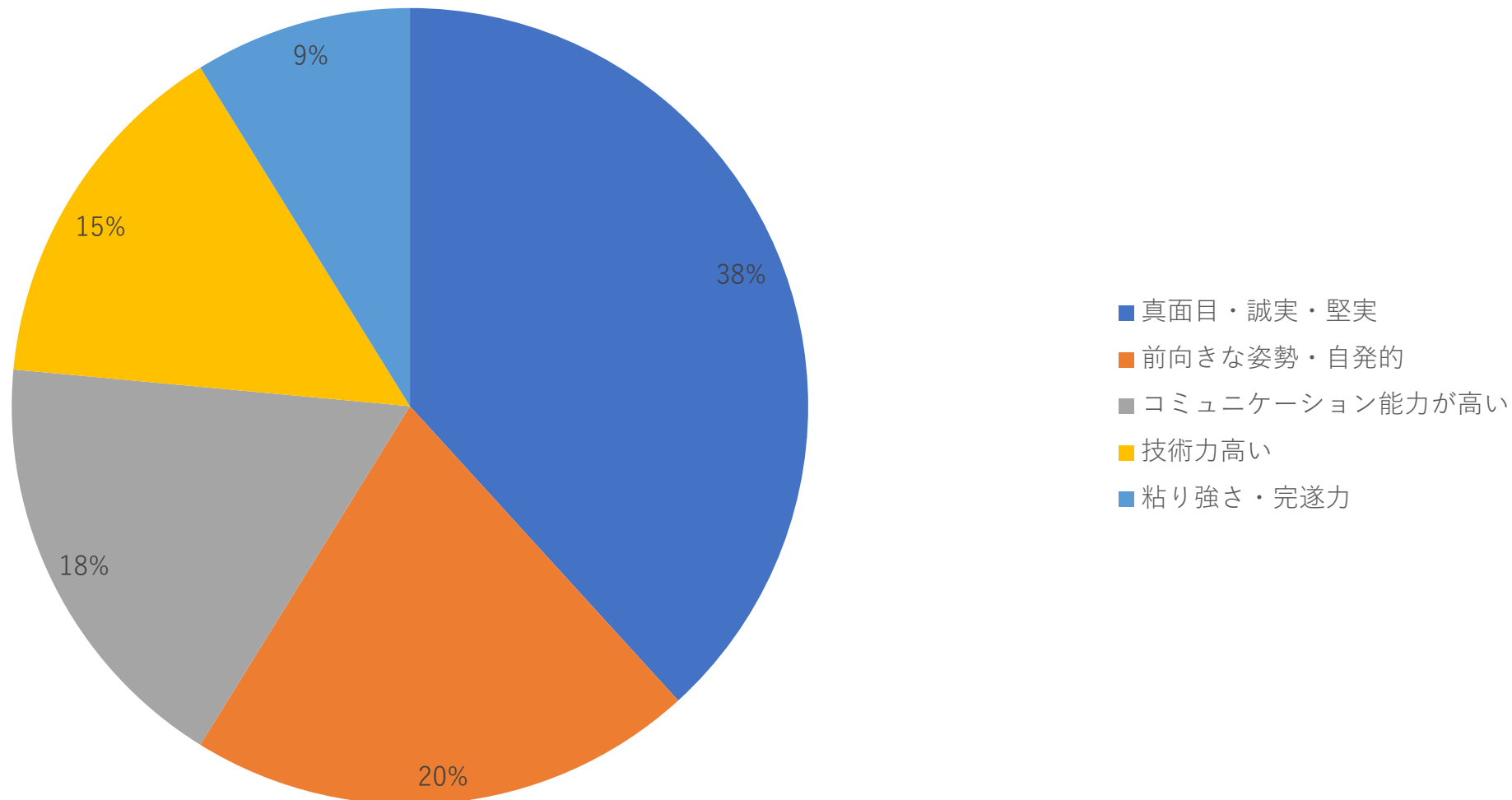
(n=142)

# 貴社に在籍する東京都市大学卒業生に対する感想（3つ回答）



(n=133)

# 貴社に在籍する東京都市大学卒業生について、 上記の能力以外で、評価や感想

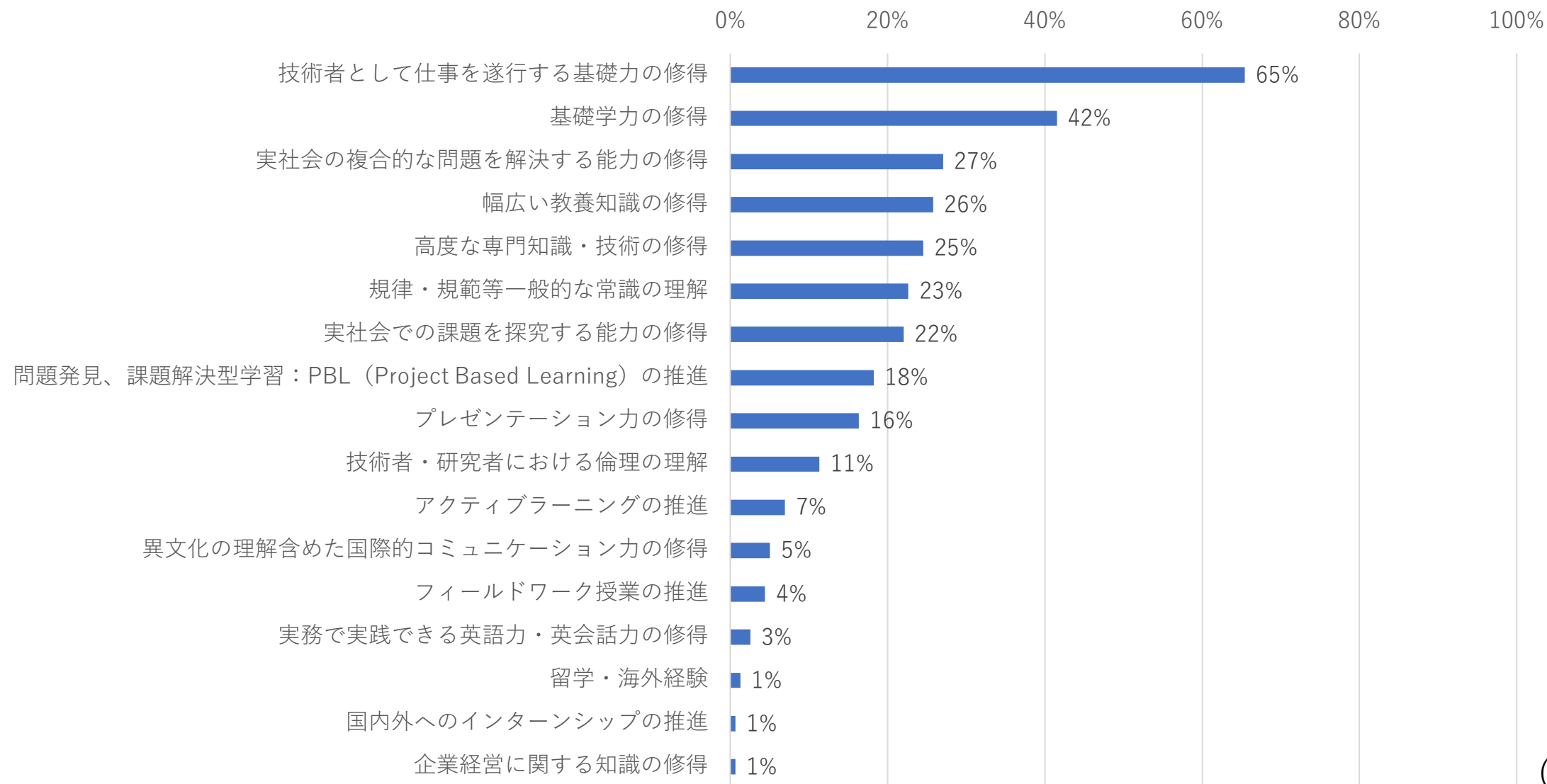


(n=46)

## 【教育アセスメント室による分析コメント】

- ✓ 前の設問である「大卒新卒者に求める能力」と回答率の高い上位の項目がおおよそ一致しており、都市大卒業生が企業が必要としている能力をおおよそ備えていることがうかがえる。
- ✓ 「雰囲気作りなどを通じてチームに貢献」の順位が昨年度から低下。
- ✓ 今年度から3つを選択する形式に変更となり、各項目の回答割合が全体的に1/2程度となった。
- ✓ 自由回答では「真面目・実直・素直・勤勉」が1/3を占め、昨年度と同様最多項目であり、割合は10ポイント以上増加した。また「前向きな姿勢・自発性」が昨年に比べて倍増した。

# 東京都市大学のカリキュラムと科目に対して、 貴社が期待していること、要望したいこと（3つ回答）

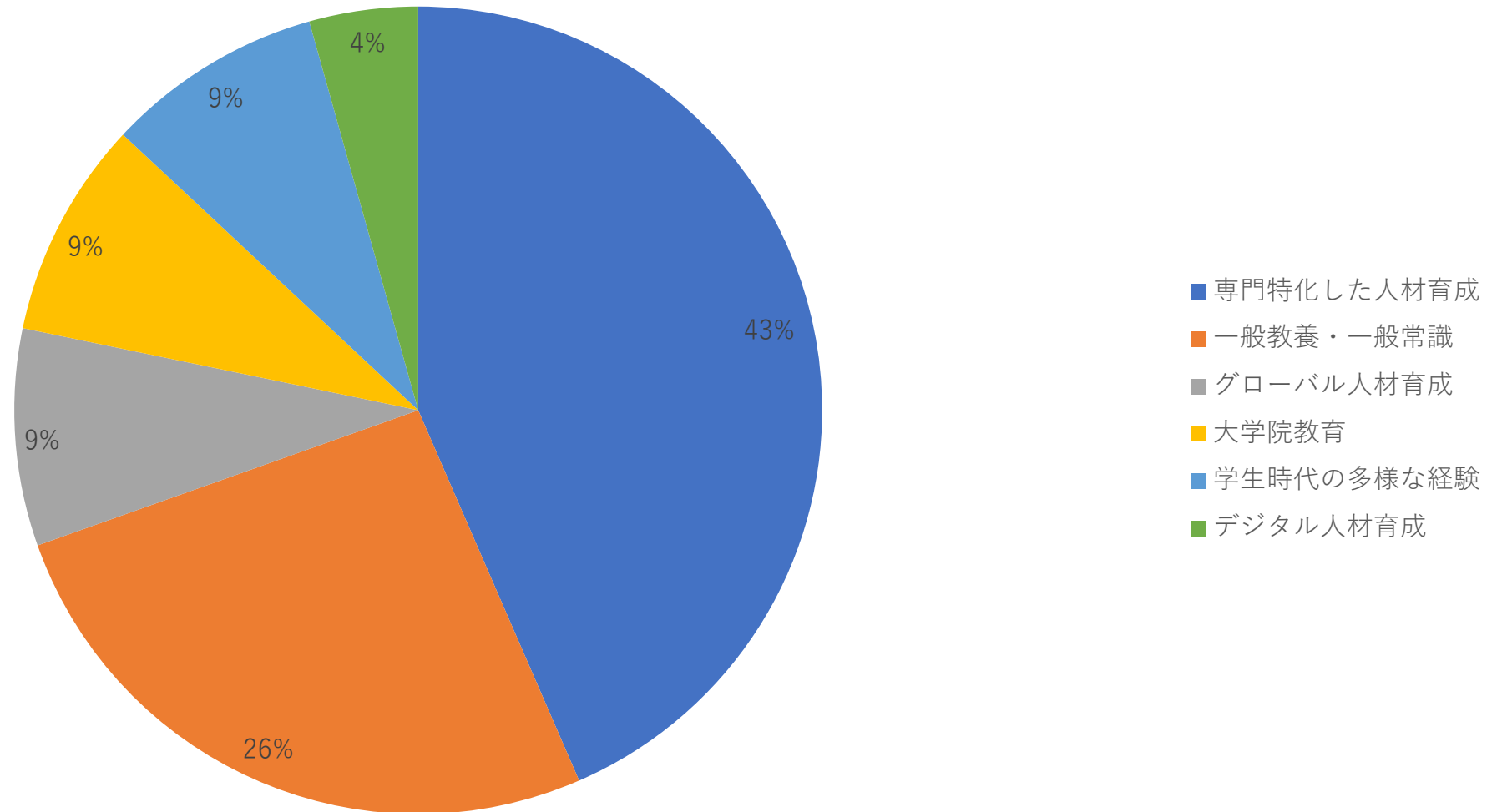


(n=159)



## 【教育アセスメント室による分析コメント】

- ✓ 「専門基礎力」、「基礎学力」の必要性は昨年度と同様に高い傾向にある。特に専門基礎力については、今年度から選択項目数が3つに限定されたにもかかわらず、回答の割合は昨年度と同様であったことから、重要度は高いと考えられる。
- ✓ 「高度な専門知識・技術」への必要性は相変わらず高いが、同時に「実社会の複合的な問題」、「幅広い教養知識」、「一般的な常識」といった、幅広い領域に関わる内容への期待も高い。このような要望を満たすためには、グループワークによるPBLを専門科目を含む授業の中に組み込むことをさらに推進してゆくことが必要と考えられる。



(n=43)

## 【教育アセスメント室による分析コメント】

- ✓ 昨年度半数以上を占めていた「現状維持」に代わり、「専門に特化した人材育成」が上位となっている。この項目は自由記述であるため、集計方法による違いと考えられる。
- ✓ 2番目に多かった、「一般教養・一般常識」については、昨年度の順位も2番目で、昨年度に比べて10ポイント増加しており、重要視されていることが窺える。